



# 11月 あひる組だより



尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園

平成 29 年 11 月 1 日

園庭の柿の実もきれいに色づき秋の深まりを感じさせます。運動会も無事に終了し、心なしか子どもたちも活発さが増したように感じています。戸外で体を動かすには最高の季節です。沢山外へ出る機会を作り、冬に向けて丈夫な体作りをしていきたいと思ひます。

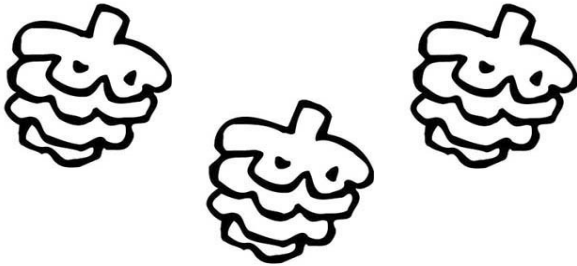


## ★こどもの様子

### ★今月のねらい★。

- ・沢山歩いたり身体を動かしたりして遊ぶ。
- ・保育者や友達と、言葉やしぐさでやり取りを楽しみながら遊ぶ。
- ・深まりゆく秋の自然に親しみ、身近な自然物に触れ探索活動を楽しむ。

天気の良い日は散歩に出掛けています。立ち乗りバギー2台を利用し、月齢の高い数名が保育者に手を引かれて歩いていましたが、今では月齢の低い数名を除いて、友だちと手を繋ぎ行き帰り歩けるようになりました。月齢の低い数名も遊歩道などの安全な場所では、一緒に手を繋ぎ歩く練習を進めています。公園でも広場を思い思いに走ったり、どんぐりを拾ったり、活動的な遊びがどんどんひろがっています。室内では自分でズボンやおむつの着脱をしたり、午睡明けにオムツが濡れていない場合はトイレに行ったりと、小さな挑戦が始まっています。



## ありがとうございました

運動会にはたくさんの方のご参加とご協力をありがとうございました。あいにくの雨で慣れない体育館の中でしたが、子どもたちはみんな元気よく走ったり、かわいい踊りを披露したりすることができ職員一同ほっと胸をなでおろしています。赤ちゃんぽさから脱出し始めた子どもたちをこれからも見守っていきたいと考えています。

## きづいたこと



- ・歩いて散歩に出ることが多くなって、気づいたことがあります。よく靴が脱げる子、つまずいて転ぶ子。何故かしらとよく見ていると、靴のサイズや形がその子に合っていないからのようです。流行のスリッポン型の靴は履きやすいけれど脱げやすい。マジックベルトでしっかり固定されているけれど大きすぎてつま先が道路に引っ掛かり転びやすい等々原因はさまざまです。新しい靴を購入する際の参考になれば幸いです。
- ・肌着が必要な季節になりました。着脱に興味を持ってくれるように少しずつ働きかけていこうと考えています。新しい肌着を購入する際には、自分で着脱がしやすいように股にボタンがないものをお願いします。今使用されているものはそのままお使いください。どうぞよろしくお願ひいたします。

